

石井西の福祉だより

石井西地区人口	29,265	人
男	13,923	人
女	15,342	人
65歳以上	7,306	人
高齢化率	24.96	%
（令和3年10月1日現在）		

発行所：石井西地区社会福祉協議会

古川地区『認知症サポーターステップアップ講座』

古川地区では6月6日（日）に、地域で活動できる認知症サポーター上級者を育成することを目的にした「認知症サポーター ステップアップ講座」を開催しました。

講座は、絵本「ばあばは、だいじょうぶ」を使った読み聞かせから始まり、認知症についての症状や行動・心理障害（BPSD）、家族の気持ちや認知症の人への対応について学びました。



また、グループワークでは、自分が「ばあば」なら、周りからどのように接してほしいか。



自分が「ばあば」の家族なら、「ばあば」に対してどのように接していたか。不安に思うことや困ることは何か。周りにどのようなことを助けてほしいか。などについて意見を出し合い発表することで、身近な問題としてとらえることができました。認知症の人と家族が安心して暮らすためには、「住民力」が必要であり、認知症についての知識を深めることが大切だと感じました。

認知症の人への対応 ～具体的なポイント～

- ① まずは見守る
- ② 余裕をもって対応する
- ③ 声をかけるときは1人で
- ④ 後ろから声をかけない
- ⑤ 相手に目線を合わせてやさしい口調で
- ⑥ おだやかに、はっきりとした話し方で
- ⑦ 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

認知症の予防には、
脳トレや運動、趣味などが効果的です。

毎日を意欲的に過ご
しましょう。



和泉南地区『認知症サポーター養成講座』

和泉南地区では7月4日（日）に、初めての「認知症サポーター養成講座」を開催しました。

地域包括支援センター石井・浮穴・久谷の皆さんを講師に、認知症の症状、自分でできる脳機能トレーニングや認知症の方への対応について教えていただきました。



「石井西地区福祉交流会」今年も中止に…

例年10月に行われていた「石井西地区福祉交流会」。

今年も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年度に引き続き中止となりました。

福祉交流会は、各町の民生児童委員、みまもり員と、担当している登録独居高齢者の方との交流を深め合う楽しいひと時でしたが、コロナ禍で2度目の中止に…

今年は、担当する高齢者の皆さんに元気をだしていただきたいと、メッセージを添えて気持ちの品をお届けしました。

来年こそは福祉交流会で皆さんにお会いできることを楽しみにしています！



カード作りは、心を込めて!!

皆さんに喜んでいただきました!

受賞おめでとうございます

松山市長表彰 ①永年勤続民生委員・児童委員

山下彌生さん

②地域福祉活動功労者

大野菊枝さん

松山市社会福祉協議会会長表彰

ボランティア活動功労者

亀田時子さん・水沼淳三さん

今後も地域福祉活動のため、活躍されますことを期待いたします。

編集後記

福祉だより77号をお届けします。コロナ禍の中、1年遅れで開催された東京オリンピック・パラリンピック2020。開催には、色々な意見がありましたが、アスリートの皆さんにたくさんの感動を頂いた方も多かったのでは。

その後、感染力の強いインド由来のデルタ株が増え、第5波が…予定していた行事は全て延期や中止となってしまい、今回の福祉だよりはA3からA4の発行となりました。

国民の半数以上がワクチンを接種し、感染者が減ってはきていますが、第6波を心配する報道にまだまだコロナ収束は先のようなので。今まで通りこまめな手洗い、定期的な換気、マスクの着用、当面はルールを守った会食や外出など一人一人の感染症防止を続けていきましょう。

本誌に関するお問い合わせは、 (石井西地区社協会長 高市宅) まで

Eメール：